

別記様式

令和5年度学校評価報告書

令和6年（2024年）3月15日

北海道教育委員会教育長 様

北海道枝幸高等学校長 辻 芳 恵

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 確かな学力を育成するために、学習の質を高め、評価の充実に努める。 (2) 保護者・地域と連携し、社会性を身に付けた生徒の育成に努める。 (3) 生徒の適性、進路希望に応じた、きめ細やかな進路指導に努める。 (4) 安全・安心な学校環境の整備に努める。 (5) 地域と連携した教育活動の充実、学校の情報発信の工夫により、信頼される学校づくりに努める。 (6) 組織の協働体制と情報共有の充実により、生徒の成長を支援する。 (7) 全教職員が資質・能力の向上と業務の効率化を意識した働き方に努める。
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
スクール・ミッション スクール・ポリシーについて	保護者や地域の皆様からのご支援により、スクール・ミッションの実現に向けて、概ね適切に学校運営が行われた。 本年度より学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしての第一歩を踏み出したが、効果的に機能させるための熟議が必要である。	全体的に適切である。特に、インターンシップ等の様子から、枝高生の成長の様子を伺うことができる。今後は、より一層主体的な生徒の育成に繋がる先生方のチャレンジを期待する。 地域の要望等をどのように捉え、教育課程に取り入れているか情報提供を願う。 また、感染症に伴う臨時休校等については適切な判断を願う。
改善方策	次年度も引き続き、「枝幸町で育てたい人物像」とスクール・ミッションの実現に向けて、より一層地域と協働した学びを推進する。 ホームページや緊急連絡メール等を活用し、学校と保護者、地域住民との情報共有の工夫を図る。	
家庭・地域との連携について (Q.1,2)	本校の教育活動については、毎月1回学校だよりを発行し、町広報誌にも掲載いただいているが、既刊済みの学校だよりのHP掲載が十分ではなかった。	学校の情報について、能動的に知ろうと思わなければ情報を得られないことから、発信力に課題がある。
改善方策	学校ホームページの更新と合わせて、職員の負担感の少ない学校公式SNSの活用について検討するなど、効果的な情報発信を推進する。	
学習指導について (Q.3,4,5,6)	各教科・科目及び総合的な探究の時間（「えさし探究」）において、枝幸町から全校生徒に貸与いただいているデバイスを効果的に活用し、学習指導を進めることができた。 また、E B E事業を含め、町内中学校と連携した取組により、特に初任段階の教諭を中心に授業改善及び観点別学習状況の評価の充実を進めることができた。	生徒に与える学習課題等については、量と質の観点から、より一層生徒の学びに繋がるものとなるよう期待する。
改善方策	次年度から、日々の学習を大切にし、確かな学力を育成することを目的に、一部の定期テストによる評価に替えて、学習のまとまりごとの多様な評価（単元テストやパフォーマンステスト等）を推進する。 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて、引き続き授業改善の取組を推進する。	
生徒指導について (Q.7,8,9,10,11)	今年度の認知件数は1件あったが、「学校いじめ防止基本方針」について今年度も見直しを行い、いじめ見逃しゼロを目指し、組織的に取り組むことができた。 いじめにつながる可能性がある情報を入手した際には、速やかに該当委員会で情報収集を行うとともに、在校生に追加アンケートや個別面談を行うなど速やかに対応した。	学校のいじめ対応については、学校ホームページに掲載されており、未然防止に努めていることがわかる。 一部、いじめにつながるような言動があるという情報を耳にしたため、未然防止に向けて適切に対応願う。 また、生徒の活動については、広く地域との交流につながることを期待する。
改善方策	「学校いじめ防止基本方針」については、次年度以降も不断に見直しを行う。 発達支持的生徒指導、課題予防的生徒指導を充実する。 生徒と職員等との対話を通して、生徒の主体性を育む教育活動を充実するために必要な信頼関係を構築する。	
進路指導について (Q.12,13,14,15)	学習指導とともに、進路ガイダンスやインターンシップ、各種講習等の機会を効果的に活用し、生徒の主体的な進路選択とその実現に向けた取組を進めることができた。 学年毎の教育目標に応じた、適切な機会設定が課題である。	公営塾の取組及び参加している生徒の様子については、SNSを通して知ることができた。 また、第1学年から各種検定に向けた指導の樹実を期待する。
改善方策	公営塾との連携等、本校の特色である「地域社会との多様な関わり」を生かしたキャリア教育を推進する。	